



子ども達の明るい未来に向けて



西小倉地域小中一貫校開校

場所決定!!

西小倉中学校

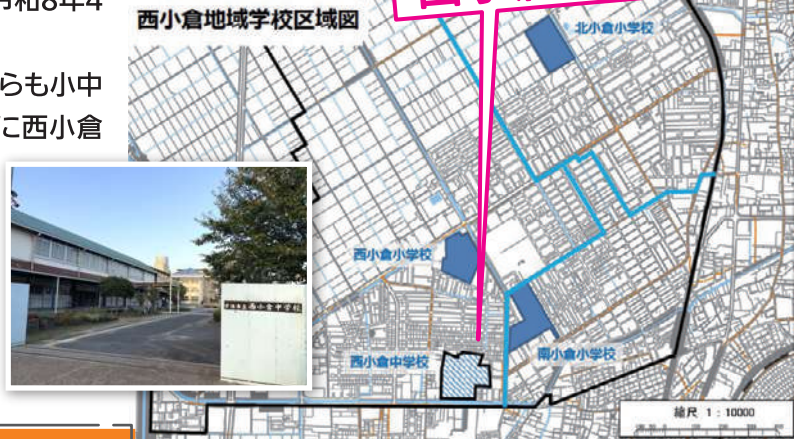
地域の長年の念願であった本市2校目となる小中一貫校の開校場所が決定しました。

西小倉小学校・南小倉小学校・北小倉小学校と西小倉中学校の3小1中を統合し、現在の西小倉中学校の場所に令和8年4月開校を目途に進められる事になりました。

これを受けて西小倉地域の子育て世代の有志の方からも小中一貫校の整備を願う要望書が提出され、9月定例会に西小倉地域小中一貫校の整備に向けた設計委託に要する経費、2億8千万円の補正予算が提出され可決されました。

子ども達の教育環境の充実と地域の活性化のため今後開校年に向けて、詳細を地元地域と協議をしながら進められていきます。

西小倉地域学校区域図



今川みや 議員が小中一貫校について一般質問

質問

地域課題について

西小倉地域小中一貫校と跡地の活用について、市長の思いは?

市長答弁 宇治市の将来を担う人材の育成には、子どもたちの教育環境を整えることが重要。先日、地域の有志の方々から西小倉地域小中一貫校の一日も早い開校を求める新たな要望を受け、一貫校の開校に向けて地域と共に歩んでいく決意を新たにしました。

跡地についても、将来の西小倉のまちづくりを見据え、これまで学校が担ってきた役割はもとより、地域にある既存の公共施設の機能も踏まえ、多世代が交流できるよう、地域の意見を聞きながら検討を進める。西小倉地域の核となる小中一貫校を一日も早く開校したいと考えている。

今川みやの要望

重要なのは、「子どもの未来のために何をすべきか」「西小倉のまちづくりをどのように前に進めていくか」。市も地元も同じ思いを持っていると感じている。これからも市と地元が協力し、立ち止まることなく、共に進んでいくことを要望しました。



令和3年度 決算委員会

服部正委員長、真田敦史・角谷陽平決算委員として決算を審査!



令和2年度
一般会計
歳出決算額

865億1,672万円

前年度に比べ 235億4,024万円増

令和元年度 629億7647万円

特別定額給付金給付事業や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫支出金の影響により、前年比37.4%の増となった。単年度収支については1億5356万円の黒字となったものの、歳入の要である市税収入は、前年度から3億1066万円減少しており、経常的な扶助費については依然増加傾向であるため、持続可能な財政運営に引き続き取り組む必要がある。

9月定例会 一般質問



真田 敦史 議員

市民参画・協働、行政のデジタル化について質問!

市民一人ひとりが宇治市のまちづくりのプレーヤーになっていただき、地域が一体となつて、施策の推進に積極的に関わっていただくことで、計画の実現が図られる。そのためにも、最先端のデジタル技術を活用し、効率化を推進していき、職員ができる限り地域に足を運び、市民との対話を通じて課題の解決に取り組むという人間でしかない業務に職員の軸足を移していくとの答弁。



今川 みや 議員

子ども・子育て支援について



病児・病後児保育施設の利用ニーズと利用状況、コロナの影響による臨時休園、休校に対する支援策の現状について、市に確認した。病児・病後児保育は、コロナ対策で利用人数を制限しているため、インフルエンザなどの感染症の流行期には利用希望者が増加し、キャンセル待ちや利用できない方が発生している。休園・休校措置の際は、「小学校休業等対応助成金・支援金」などの経済的支援策はあるが、市の一時預かり施設は原則利用できないと市は答弁。新たな病児・病後児保育事業者の開拓や休園・休校支援策を検討するよう要望した。

4常任委員会 報告

総務 常任委員会

政策、財務、広報、消防など総務を担当



服部 正

令和2年度 まち・ひと・しごと 創生総合戦略の取組の報告について

この事業は人口急減・超高齢化という課題に対し、的確な対応と本市の特色を活かし持続的に発展するまちを目指す為のものであり、その取組の報告がなされた。事業評価として、市民参画協働による魅力発信や観光施策などの効果により、魅力度は上位を維持、人口の社会動態はこの戦略策定以降最も少ない減少幅となっており、この取組に一定の成果があり、人口減少の歯止めに向けた取組として評価されている。

文教・福祉 常任委員会

教育、福祉を担当



西川 友康

角谷 陽平

オンライン授業にむけて 通信環境を整備



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、臨時休校や児童生徒が欠席した場合等に備えて、昨年度整備したタブレット端末を使い、家庭でのオンライン授業等への活用を進めるため、Wi-Fi環境が不十分な家庭の児童生徒に対し、ポケットWi-Fiを宇治市で確保して通信環境の整備を進めるとの報告がされた。引き続き感染症の急拡大が予測されるため、オンライン授業ができる体制を一日でも早く整えていただくよう要望した。

市民・環境 常任委員会

観光、自治、ゴミ収集、農業委員会などを担当



松峯 茂

岡本 里美

「宇治飯うまいもんチャンネル」の配信開始



ポストコロナを見据えて、市内飲食店の一押しの料理と、店主の熟練した技術など、地域に根付いた「地元飯」を撮影し、動画(YouTube)での配信を開始しました。

宇治飯うまいもんチャンネルの視聴はこちら→



飲食店の撮影依頼はこちら→



建設・水道 常任委員会

建設、都市整備、水道などを担当



真田 敦史

今川 みや

まちづくりオープンハウスと意見交換会について



宇治市では、まちづくりの基本的な方針である「宇治市都市計画マスタープラン」の改定に取り組んでいる。地域の皆さんと一緒に考え、より良い計画を策定する為、市内10会場で「まちづくりオープンハウス&意見交換会」を開催。各会場では、その地域についての展示と職員からの説明や、意見交換を行う。申し込み不要。

うじ未来 議員紹介

- 松峯 茂 【まつみね しげる】
 - 監査委員
 - 市民環境常任委員会委員
 - うじ未来 団長
 - 議会運営委員会委員
 - 城南衛生管理組合協議会議員
- 真田 敦史 【さなだ あつし】
 - 議会運営委員会委員長
 - 京都府後期高齢者医療広域連合協議会議員
 - 建設水道常任委員会委員
- 服部 正 【はっとり ただし】
 - 広報委員会委員長
 - うじ未来 幹事
 - 総務常任委員会委員

- 今川 美也 【いまがわ みや】
 - 建設水道常任委員会副委員長
- 岡本 里美 【おかもと さとみ】
 - 市民環境常任委員会副委員長
 - 城南衛生管理組合協議会議員
- 西川 友康 【にしかわ ともやす】
 - 文教福祉常任委員会副委員長
- 角谷 陽平 【かどや ようへい】
 - 文教福祉常任委員会委員
 - 広報委員会委員